

(様式1)

## 令和5年度指定管理者による公の施設の管理状況評価表

1 施設名 (所管課)  
県民公園自然博物館 自然保護課

2 施設所在地  
富山市婦中町吉住1-1

3 施設設置年度  
昭和56年度

4 設置目的  
自然に親しみ学習する機会を提供し、展示館と自然観察のためにフィールドを利用して自然保護思想の普及を図ることで、県民の教育向上ならびに福祉の増進に寄与することを目的とする。

5 施設概要  
敷地面積：147,498㎡  
自然博物館センター  
・延床面積：726.54㎡  
・構造：鉄筋コンクリート2階建  
・施設内容：1階 展示室、レクチャールーム  
2階 展示室、事務室、トイレ、研究資料室等  
鳥獣保護センター  
・延床面積：112.52㎡  
・構造：管理棟 鉄筋コンクリート造平屋建 一部鉄筋金網造  
・施設内容：救護室、飼育室8室  
・関連施設：焼却施設  
フィールド  
・山林：約12.8ha  
・園路：1周約2km自然観察路  
・工作物：シンボルタワー1基木造、標識1基木造、バランスボード1基、ライド遊具3基

6 指定管理者  
公益財団法人富山県民福祉公園

7 指定期間  
3年  
令和5年4月1日 ~ 令和8年3月31日

### 8 利用者数及び利用（使用）料金収入の状況

#### (1) 利用者数（人）

R1	R2	R3	R4	R5
18,859	15,668	13,144	14,311	14,818

#### (2) 利用（使用）料金収入（千円）

R1	R2	R3	R4	R5
-	-	-	-	-

#### 【参考】利用料金収入見込み額（利用料金制導入施設の場合）

R1	R2	R3	R4	R5
-	-	-	-	-

## 9 評価項目

### (1) 利用者数・収入の増減に対する評価

利用者数:507人増加(前年度比)

【評価】夏は猛暑とアラート、秋には熊の大量出没の影響で、利用者の伸びは今一つだった。

### (2) サービス向上に向けた取組み

駐車場からの園路については、長い道のりが少しでも楽しくなる様、クイズの設置や「ケンケンパ」を書くなど工夫している。

### (3) 利用促進（収入増）に向けた取組み

- ・指定管理者制度を導入以来、マスコミや来館者などに対し、積極的に情報提供を行っている。
- ・令和5年12月にHPをリニューアルし、携帯電話でのアクセスの向上を図った。また県民福祉公園の管理するHPや各公園のHPにリンクを貼り、自然博物館や野鳥の園について情報発信し、利用促進に努めた。
- ・冬期に冬眠する生物がいるため展示が少なくなることから室内向けのプログラムを充実させるため、塗り絵の他に令和5年度よりミツロウの型抜きなどを実施した。

### (4) 利用者のニーズ把握や苦情への対応

#### ① アンケート結果

実施方法	実施期間：通年、実施方法：入場時にアンケート用紙を配布
回答者数	回答者数：124人
結果	施設全般の満足度：「満足」「やや満足」96.0% また来たいか：「来たいと思う」「少し思う」95.2%
結果を踏まえた改善事項	満足度は令和4年度の91%より増加したが、令和4年度同様リピーターの利用が半数以上を占めていることがわかった。リピーターの声に応え、且つ新規の方にも安全に利用していただくため、7月の豪雨災害等の被害に対し、規制線の設置や注意喚起を行うなど安全対策を図った後、崩落現場の工事や池の浚渫を行い復旧を図った。

#### ② その他利用者の声を反映させる取組み

- ・意見箱の設置
- ・HPやメールの活用
- ・ボランティアや利用団体等との意見交換

#### ③ 主な苦情と対応

特になし

### (5) 個人情報保護の取組み

- ・個人情報に関する指針を定め、職員に周知を図っており、適切な個人情報保護が図られている。

(6) 関係団体との連携

- ・保育園、幼稚園での出前講座を実施した。
- ・地元保育所、小学校などの校外学習サポート、環境教育を行った。
- ・「ねいの里自然塾の会」と連携し、行事を実施した。

(7) 施設・設備の維持管理

- ・各施設の整備点検、施設修繕を実施し、適切に管理されている。

(8) 危機管理・安全管理などの取組み

- ・熱中症や湿度対策などを図るためエアコンを本格的に稼働した。
- ・園内や管内の巡視、不具合への対処。(枯損木や樹木の処理、豪雨による崩落現場での注意喚起や規制、能登半島地震の被害調査や県への報告など)
- ・AEDの管理や講習会への参加
- ・新型コロナウイルス感染防止対策として、展示館の入口における検温器の設置及び各所でのアルコール消毒液の配置
- ・入口や窓の開放など換気対策の徹底とノブやテーブルなどの消毒

10 所管課の管理運営確認状況

- ① 定期報告の受理
- ② 維持管理・運営状況等の担当職員現地確認
- ③ 個人情報に関するトラブルの有無
- ④ 危機管理・安全管理上のトラブルの有無

有/無	回数(有の場合)
有	12
有	12
無	—
無	—

【トラブルの具体的内容と対応】

なし

11 今後の課題等 (収入確保、経費削減、サービス維持向上等の観点から今後の課題を記載)

新型コロナの5類に伴う規制緩和で、利用者の増加が期待されたが夏の猛暑や秋のクマ大量出没の影響で利用者は伸びなかった。一方で変わらず屋外での自然体験のニーズは高まっており、また、当施設はリピーターが多いという特徴があることから、こうした点を踏まえた取組みが求められる。

このことから、引き続き、利用者の安全を第一としつつ、業務の効率化による経費節減に努めながら、施設目的の達成と、現在の利用者のニーズに的確に対応した管理運営に取り組む必要がある。